

令和5年度 指定管理施設評価票

1 基本情報

(令和6年3月31日時点)

施設名	港区立地域包括支援センター港南の郷 (芝浦港南地区高齢者相談センター)						
指定管理者	社会福祉法人恩賜財団済生会支部東京都済生会						
指定期間	令和 4 年 4 月 1 日 ~ 令和 9 年 3 月 31 日						
募集方法	公募	グループ化の有無	○	利用料金制の採用	○	使用許可権限の付与	—
施設所管課	保健福祉支援部高齢者支援課						

2 職員体制

(単位：人)

	正規			非正規			委託（シルバー人材センター等）	合計
	常勤	非常勤		常勤	非常勤			
職員数	9	8	1	2	2	0	0	11
	令和4年度	令和5年度	令和 年度	令和 年度	令和 年度		備 考	
正規・非正規職員の退職者数	3	1						

3 指定期間における事業実績

事業実績	令和4年度	令和5年度	令和 年度	令和 年度	令和 年度	備 考
総合相談件数（件）	26,830	27,074				
予防プラン作成件数（件）	2,633	2,633				
訪問件数（件）	3,446	3,614				

4 指定期間における経費実績

(単位：円)

項 目		令和4年度	令和5年度	令和 年度	令和 年度	令和 年度	備 考
経費実績	収入	57,119,546	62,544,629	0	0	0	
	指定管理料（清算後）	53,108,583	58,166,600				
	利用料金収入	4,010,963	4,378,029				
	その他収入	0	0				
	支出	56,560,716	61,145,392	0	0	0	
	職員人件費	51,399,137	54,831,761				
	光熱水費	809,776	698,422				
	修繕費	0	0				
	事業運営費	3,772,578	5,028,126				
	施設管理経費	557,018	565,471				
	その他経費	22,207	21,612				
	差引収支額	558,830	1,399,237	0	0	0	
年度協定書で定める指定管理料		53,206,000	58,421,000				

5 管理運営状況に対する評価

項 目	評価視点	指定管理者に よる評価	区による評価		
			評価	加算	点数
【施設の維持管理】	① 設備機器の保守管理	仕様書等に従い、適切に設備機器の保守管理が行われ、利用者の安全・安心が確保されていたか。	- / -	×1	- / -
	② 清掃及び衛生管理	仕様書等に従い、適切に清掃及び衛生設備の保守管理が行われ、施設が清潔に保たれていたか。	- / -	×1	- / -
	③ 修繕対応	迅速に修繕がなされ、利用者の安全・安心が確保されていたか。	- / -	×1	- / -
【事業運営】	④ サービスの向上	事業計画書で定めた事業を適切に実施するとともに、公募時の提案や利用者の声を事業に反映するなどサービス向上を図っていたか。	3 / 5	×5	15 / 25
	⑤ 職員配置	事業計画書等で定めたとおり、必要な知識や技能を持った職員が適正に配置されていたか。	5 / 5	×2	10 / 10
	⑥ 人材育成	施設長や職員に対する研修などにより、サービスの向上に向けたスキルアップに取り組んでいたか。	3 / 5	×1	3 / 5
	⑦ 労働環境	区が定める最低賃金水準額を遵守するとともに、ハラスメントが通報されないなど、職員にとって良好な労働環境が確保されていたか。	5 / 5	×2	10 / 10
	⑧ 安全管理・危機管理	施設の日常安全点検を実施するとともに、災害や事件・事故発生時の体制や対応の確立などにより、利用者の安全・安心が確保されていたか。	5 / 5	×3	15 / 15
	⑨ 個人情報保護・情報セキュリティ	個人情報や情報セキュリティの社内規程を整備し、区の規程とともに遵守して、適正に運用していたか。	3 / 5	×1	3 / 5
	⑩ 区施策への協力	高齢者や障害者の雇用促進、区内事業者の活用、施設の省エネ促進等、区の施策を理解し積極的に協力していたか。	5 / 5	×3	15 / 15
区による評価合計点					71 / 85

【各項目の評価について】

5点：当該項目に係る事項については、充実した取組が展開されていた。

3点：当該項目に係る事項については、概ね適切に取り組んでいた。

1点：当該項目に係る事項については、更なる取組の推進が必要であった。

※複合施設の入居施設等で、当該施設の指定管理者が設備機器の保守管理等を直接実施していない場合、該当項目は「－：評価対象外」とします。

指定管理者による自己評価	前年度に引き続き改善点として、アフターコロナの状況変化や地域特性を踏まえ、参集による事業の実施に力を入れて取り組みました。子育て世代が多い地域のため、小学生を対象に、高齢者疑似体験など認知症の普及啓発事業を開催し、多くの小学生に参加してもらうことが出来ました。また、台場地区の高齢者に、オレンジカフェや介護予防普及啓発事業等を身近に感じてもらうため、同事業を台場地区でも月1回程度の頻度で実施しました。 法人独自の取組が研修内容に反映できなかったなどの課題はありましたが、研修の実施に当たり、勤務日を調整するなど、出席しやすい環境を整え、また、研修内容を月1回の定例会議で共有するなど、職員の資質向上に取り組むことができました。権利擁護（成年後見制度申立て支援・虐待対応）の取組については、関係機関と連携し適切に対応できたことから高く評価しました。
区（施設所管課）による評価	アフターコロナの状況変化を的確に捉え、安全・安心に事業を実施するほか、地域特性を踏まえ幅広い世代の集客を工夫するなど、関係機関と適切に連携し、支援のネットワークづくりに取り組む積極的な姿勢が評価できます。 職員間のスキルアップとして、研修内容を共通の認識とし、各自の学びを他職員が確認するなど、学んだことを日々の業務に生かすことができています。権利擁護の取組において、成年後見制度申立ての相談には、専門職と協働で対応するとともに、虐待対応の相談には、関係機関と交え迅速に会議を開催するなど、区のマニュアルに基づく対応が徹底されていました。 更なる区民サービスの向上が図られるよう、引き続き、指定管理者独自の取組を積極的に取り入れるなど、指導していきます。

6 評価

令和5年度の管理運営に関する総合評価

A

【総合評価について（項番5における区による評価合計点の得点率）】

- S：施設の管理運営は特に優れていた（90%以上）
- A：施設の管理運営は優れていた（80%以上90%未満）
- B：施設の管理運営は適切に行われていた（60%以上80%未満）
- C：施設の管理運営に改善が必要であった（60%未満）